

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	20年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期	未定
(小項目)	社会保障					
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施				
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①特定健診の対象者は、国民健康保険の被保険者であって、40～74歳の者 ②特定保健指導の対象者は、特定健診受診者の内、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の方														
事業計画	30年度に何を計画していたか	第2期鳴門市特定健康診査等実施計画に基づき実施する。 広報なると、テレビ鳴門のほか、ツイッターなど若年層に有効と思われるメディア媒体を活用し、被保険者への健康意識の高揚を図る。 コールセンター方式による受診勧奨を行うとともに、電話勧奨を行うオペレーターに保健師等専門職を採用する。また、頸部エコー検査を付加した巡回健診バスによる特定健診に、健康増進課所管のがん検診を組み合わせるほか、新たにPSA検査(前立腺がん検査)を導入する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>60</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	特定健診受診率	60	35	40	45	50	%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
特定健診受診率	60	35	40	45	50	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	特定健診対象者に対して、7月に特定健診受診券を送付し、受診を促した。広報なると、他課イベント等各種媒体の活用、大型商業店舗でのPRを行った。コールセンター方式による受診勧奨においては、既往症や受診歴等を有効活用した効果の高い受診勧奨通知を送付したほか、電話勧奨を行うオペレーターに看護師等専門職を採用し、健康相談の要素を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行うことで、対象者の受診意欲の高揚につながるよう努めた。頸部エコー検査を組み合わせた巡回健診バスによる特定健診では、健康増進課所管のがん検診と同時実施とし、新たにPSA検査(前立腺がん検査)を導入するなど、健診内容の充実と男性利用者の拡大を図った。また、インターネットを介した電子申請による申込みを導入し、利用者の利便性の向上を図った。																																																	
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度実績</th> <th>元年度目標</th> <th>2年度目標</th> <th>3年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標 実施した事業の活動量を示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1 特定健診受診者数</td> <td>3,081</td> <td>3,333</td> <td>4,411</td> <td>4,916</td> <td>5,411</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>2 特定保健指導利用者数</td> <td>288</td> <td>—</td> <td>355</td> <td>396</td> <td>436</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>28.6</td> <td>31.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td colspan="2">90.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	活動指標 実施した事業の活動量を示す指標							1 特定健診受診者数	3,081	3,333	4,411	4,916	5,411	人	2 特定保健指導利用者数	288	—	355	396	436	人	成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標							特定健診受診率	28.6	31.6	—	—	—	%	目標達成率(実績/目標)	90.3		—	—	—	%
指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位																																													
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標																																																			
1 特定健診受診者数	3,081	3,333	4,411	4,916	5,411	人																																													
2 特定保健指導利用者数	288	—	355	396	436	人																																													
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標																																																			
特定健診受診率	28.6	31.6	—	—	—	%																																													
目標達成率(実績/目標)	90.3		—	—	—	%																																													
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり																																																

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	20,426	0	0	16,170	36,596
		補正予算額		0	0	0	0	514	514
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	20,426	0	0	16,684	37,110
		決算額		0	21,460	0	0	10,301	31,761
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0	1.0	9,446		41,207			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	28,291	31,761	41,000	44,932	48,499
	うち一般財源	8,008	10,301	19,752	22,212	23,681
	人件費	9,726	9,446	9,446	9,446	9,446
	総事業費	38,017	41,207	50,446	54,378	57,945

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		特定健診の受診率向上のために、勧奨手法等のさらなる工夫は必要である。
	効率性	B:概ね効率的だった		県下保険者での受診券作成の共同発注や特定保健指導の健康増進課への執行委任など経費削減等は図られている。
②成果に対する評価	指標名	特定健診受診率		受診率は増加したが、目標には届かなかった。
	目標	35.0	%	
	実績	31.6	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		概ね目標を達成できたことからB評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないこと、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 また、対象者の属性や受診歴等状況に応じたアプローチを行い、健康意識の醸成や受診行動を促す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	コールセンター方式による受診勧奨について、対象者の細分化等これまでの実施結果を有効活用したより効果的な勧奨を実施する。 鳴門市医師会と受診率向上の方策について協議・検討を行う。 他医療保険者と連携した受診率向上に向けた取り組みを行う。			
	R2年度	勧奨手法の研究、工夫を行い、さらなる受診率向上につなげたい。			